

愛西市特別職報酬等審議会会議録（概要）

会 議 名 称	第3回 愛西市特別職報酬等審議会
開 催 日 時	令和7年10月28日（火） 午前9時30分から午前11時15分まで
開 催 場 所	愛西市役所北館 3階 災害対策本部兼会議室
出 席 委 員	別紙のとおり
欠 席 委 員	垣見好輝
公開・非公開	公 開
傍 聴 人 の 数	0 人
審 議 事 項 等	（1）会議録署名者の決定について （2）愛西市特別職報酬等について （3）その他
審 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料	

愛西市特別職報酬等審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千 頭 聡	
副 会 長	加 藤 保	
	垣 見 好 輝	欠 席
	加 藤 金 彦	
	後 藤 英一郎	
	小 林 秋 良	
	古 川 宏	
	松 永 恵美子	
	水 野 秀 俊	
	水 野 善 弘	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部長	西 川 稔	
人事課長	加 藤 貴 也	
人事課課長補佐	大 平 剛 史	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	1 開会 只今より、令和7年度第3回愛西市特別職報酬等審議会を開催します。 開会に当たり事前に報告します。 本日の傍聴者はありませんでした。
会長	2 あいさつ 愛西市特別職報酬等審議会にご出席いただきましてありがとうございます。この審議会も今日で3回目になりますので、皆さんの意見をまとめて答申できればと考えています。よろしくお願いします。
事務局	審議会規程第3条第2項により、ここからは会長に議長を務めていただき議事の進行をお願いします。
会長	3 付議事項
委員	(1) 会議録署名者の決定について 審議会規程第5条第3項の規定により、会議録署名者の指名をします。 名簿順で加藤保委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 （「はい」の声あり） 加藤保委員、よろしくお願いします。
会長	(2) 愛西市特別職報酬等について 今日は結論を出す必要があります。まず、前回までの議論の整理ですが、人事院勧告の指定職改定率を参考に2.8%増額改定としたらどうかという意見が多かったと記憶していますが、議論終盤に財政状況を見たときに合併特例債が今後発行できず、全体として収入に見合った形の財政規模を作っていく必要があることを考慮すると今年は据え置きで良いのではないかとこの意見もあったところです。 まず、周辺自治体の特別職報酬等審議会の開催状況が分かれば参考にしたいですが事務局いかがでしょうか。 津島市は据え置きと伺っています。また、稲沢市は1.4%の増額改定とのことでした。それから、あま市は今年度実施予定がなく、弥富市は11月に入ってから開催されるそうです。 津島市の据え置きというのは財政的な状況を反映されたと想定しますが、稲沢市の1.4%という数字の考え方はわかりますか。 担当者からの聞き取りによれば、稲沢市職員の最上位である部長級職員の増額金額を超えない範囲で市長の給料月額を改定しようとする1.4%という数字になったため、その数字を他の議員、副市長、教育長にも適用したと伺っています。 ありがとうございます。では、今の話も参考にしながら皆さんにご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。 人事院勧告は民間給料の状況を分析して増額改定という答申が出ているわけですが、少ない大企業が非常に大きく上げていて、多くの中小企業が非常に苦しい経営をしていると思っています。給料を上げないと人材を確保で

会長 委員	きないというジレンマに陥っている企業もあると思います。そのような中で、個人の考えとしては、行政が民間をリードしていかなければいけないので増額改定していくべきというのが私の考えです。ただ、これまでの議論で意見が分かれているので、皆さんの意見が統一できないのではないかと考えており、今回は改定を見送って来年改めて見直すというのも選択肢として良いのではないかと思います。 ありがとうございます。では他にいかがでしょうか。 難しい判断ですが、人事院勧告の2.8%を参考にすると言ってもこれは一般職員の方の改定率であって、特別職の方や議員の皆さんは、市政に責任を持つ方々なので、単に世間がベースアップしているから同様に上げるというのは、今の財政状況を踏まえて、成果が出ていないのであれば2.8%増額改定というのは、前回までの意見と変わってしまいますが、難しいと思っています。2.8%増では、市民の理解が得られないと思うので据え置きから1.4%の間でどうかと思っています。
会長 委員	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 私も、第1回の会議の前に国と同様に愛知県の勧告が出たという新聞記事を見た中で、2.8%が妥当だと思っていたわけですが、会議の中で合併特例債の話や財政状況の話を聞く中で2.8%を上げることに疑問が出た事は事実です。先程も話がありましたが、市民感情も気になる所であり、据え置きか2.8%増の二者択一かと思っていましたが、1.4%というのも良いのではないかと感じています。
会長 委員	ありがとうございます。他にいかがですか。 私は、地元の例えば公民館の修繕の補助率が下がって、いずれ廃止されることも検討していると伺っている中で、報酬等を上げていく事には反対ではありませんが、人事院勧告通り2.8%を上げるのではなく、少し増額金額を減らした方が市民感情に配慮できると思いました。
会長 委員	ありがとうございます。他にどうでしょうか。 私も皆さんと同じで2.8%ではなく少し上げ幅を小さくした方が良いと考えています。日頃から市長さんはじめ特別職の方や議員の方が自分の時間も削りながら一生懸命市のために働いていただいていることはよく理解していますので据え置きではなく、稲沢市の1.4%という考え方も参考になると思いました。
会長 委員	はい。ありがとうございます。他にどうでしょうか。 私も当初2.8%改定と思っていましたが、今後の財政状況を考えると、少し上げ幅を小さくした方が良いと思います。ただ、2.8%以外に数字の根拠を作ることが難しいと考えていましたが稲沢市の考え方も1つですし、この審議会では何か根拠が出せればとも思います。私個人としては、1.4%が良いと思っています。
会長 委員	はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 私は、少なくとも人事院勧告の指定職の2.8%は上げるべきだと思っています。この考えが正しいかわかりませんが、一般職と同じ賃金の伸び幅で、

会長 委員	経営層が本当にいいのかと考えると、議論の余地があると思います。確かに財政力指数で見ると、愛西市は愛知県内で下から2番目ということで非常に厳しいですが、ここの数値を改善しようとする、相当なことをしなければならず、今すぐにでも、例えば体育館等の運営を中止して赤字の垂れ流しを絶つ必要がありますが、そこは市民感情からすれば、サービスを残して欲しい。だけど、給料の話になれば、市民感情で上げない方が良いのではないかと思います。どちらの市民感情を取れば良いのかというのが非常に難しく、そこを天秤にかけることはできないと思っていますので人事院勧告で2.8%増額改定という数字が出ているならその改定率が妥当だと思います。 はい。ありがとうございました。他にいかがでしょうか。 私も人事院勧告どおり2.8%改定と考えていましたが、皆さんの話を聞いている中で、私個人としては増額改定すべきとも考えるわけですが、今後、更なる経費削減を進められる可能性があるなら、今回は据え置きの方が良いと考えました。一般的には、社会全体の給料が上がってきて、税収がだんだんと増えてくるはずですので、そのタイミングで、引上げをすれば良いと思いました。
会長 事務局	はい。皆さんありがとうございました。ご意見が3つに分かれていると思います。皆さんの意見で稲沢市の1.4%という数字が出ていましたが、同じ考え方で愛西市に当てはめるとどのような金額になるかわかりますか。 愛西市に単純に当てはめると1.28%増になり、市長が現行96万2000円から1万2000円増の97万4000円、副市長が79万7000円から1万円増の80万7000円、教育長が69万5000円から8000円増の70万3000円。議長が52万1000円から6000円増の52万7000円、副議長は46万8000円から5000円増の47万3000円、議員は41万7000円から5000円増の42万2000円、こちらが給料月額になります。
会長 委員	なるほど。ありがとうございました。部長級職員の増額金額を超えない範囲で1万2000円上げても、副市長、教育長、議員とだんだん金額が小さくなりますね。それぞれに明確な根拠があるわけではありませんが、1.28%増に近い形になるということですね。できれば多数決ではなくて、それぞれの意見にそれぞれの利があると思っていますので、できれば合議で決められたらいいと思っていますので皆さんから再度意見をお聞きしながら、進めたいと思います。 では、私からすいません。2.8%改定すべきという根拠としては、消費者物価指数も前年同期比で見ても大きく上がっているという実態があります。確かに指定職はベースが高いので、金額を見るとそれなりの額面になってしましますが、財政状況が悪いから、そのまま据え置きでいいのかという疑問があります。また、市民感情というキーワードも出ましたが、民間で働いている方は、賃金は間違いなく上がっていますので、経営者の立場からすれば厳しい経営ということもあると思いますが、やはり日本全体を底上げしていくという意味からでも、賃金を上げていかないと好循環にならないですし、据え置きでは成長が止まってしまうようなイメージが凄くあるので、その職

会長	を目指そうとする人もいなくなってしまうと思います。先程、1.28%という話も出ましたが、部長職の1万2400円をベースに考えると、議員さんは5000円しか上がらないんです。これはちょっと少なすぎると感じました。 ありがとうございます。皆さんに考えていただかないといけないんですが、特別職及び議員がそれぞれ、民間会社と比べた時に共通の部分もあるけれども違う部分があって、一つは市長は市のトップなので、ある意味市の行財政の責任がありますから、業績がよければ給料は上がるべきだし、悪かったら抑えるというのがトップの責任だと思います。また、市長は必ず選挙で選ばれますので、例えば部長が次の市長になるケースもありますが、必ずそこは選挙を経ますので、そこは民間会社とは決定的に違うところだと思います。そういう民間会社と共通のところと、行政という違う側面と両方あるのでそこを踏まえてどう考えるかということですね。このままではちょっと意見が集約できないかもしれないので一度3択で挙手をお願いしてもよろしいでしょうか。ただ、多数決を取った後の決め方も先に議論しておく必要がありますがどうでしょうか。
委員	結論を出す必要があるので、多数決もやむを得ないと思います。
会長	そうですね。では、皆さんそのような進め方でよろしいでしょうか。
委員	異議なし。
会長	はい。いずれにしても、苦渋の決断だと思いますが、2.8%増、据え置き、それからその中間の順番にお聞きします。よろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	では、2.8%上げるべきだという方、挙手をお願いできますか。
	挙手1名
会長	次に据え置きという方、挙手をお願いできますか。
	挙手2名
会長	最後にその中間をとという方、挙手をお願いできますか。
	挙手5名
会長	はい。ありがとうございました。では、その中間にするということで、部長級職員の増額金額を目安に決める稲沢市と同じような考え方で良いのか、ただそうすると先程意見があったように、議員さんが5000円の増額になってしまう。これが妥当なのかという意見もありました。本当にそれで将来良い議員さんに議員を担ってもらえるのかということも含めて考えるべきだというご意見もいただきましたが何かご意見はありますでしょうか。
委員	人事院勧告の2.8%という数字が出ていましたが、皆さんの意見でその間にしようと思ったわけです。ここは単純に2.8%の半額の1.4%という表

会長 委員 会長	現でもいいのではないかと思います。稲沢市は部長級職員の増額金額を参考にしたそうですが、そうではなくて半分でいいと思います。 なるほど。財政状況を鑑みて2.8%の半分としたという考え方ですね。 私も2.8%の半分という説明の方が分かりやすく良いと思います。 ありがとうございます。他にはいかがですか。では、ちょっと私の立場で、これまでの議論から委員の皆さんにご提案をさせていただきたいと思いますが、結論を出した時に市民の方がどう思うか、それから組織のトップとしての処遇の仕方を考えたときに、今回は人事院勧告どおりに増額改定するのは難しいと思います。しかし、皆様からも意見がありますように、物価上昇の状況の中で据え置きということも働く立場で考えた時に厳しく、或いは将来の人材確保という点でも厳しいということで、その間を取ったときに、一番説明がしやすい2.8%の半分である1.4%としたというのが一番市民の方にも説明がしやすく、納得も得やすいのではないかと思います。1.4%を一律上げて千円未満は切り捨てという提案をさせていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。
委員	異論はありませんが、見せ方の工夫が必要かと思います。例えば指定職に合わせて2.8%に引き上げるべきとの意見も出たが、合併20年が経過し、合併特例債が活用できない中で今後事業をどのように進めていくか見極める必要があるため、2.8%の半分の1.4%の増額としたとかですか。
会長	はい。ありがとうございます。私の理解としては、愛西市は行政改革の計画が来年度から新しい計画がスタートするはずで。それは何度も出てきていますように、今までは合併特例債を前提として、ある意味でかなり膨らんだような収入と支出の構造だったところが、合併特例債がなくなることで、収入も減る支出も減らず、そこでもう一度うまくバランスを取る必要があって、それがうまく着地できるのかというところを見届ければ、決してその報酬を今後も上げないということではなくて、今は過渡期なので、合併特例債が活用できなくなることによる市の収支状況のバランスを見極めるために、2.8%ではなくて今回は1.4%にする。それは言い換えれば次年度以降、実際は再来年になる可能性もありますけれども、その新しい均衡した愛西市の財政状況をもう一度チェックをして、そこで判断すればいいというふうな趣旨を書けばどうかと私も思います。わかりやすく言えば、新しい市の財政状況を見て、再度検討すべき、言い換えれば先送りですね、人事院勧告通りに増額するのは少し先送りしてという言葉を入れたらどうかと思っています。
会長	では、休憩を入れて一度答申案をまとめましょうか。 (休憩)
会長	では、再開します。 今、答申案を配ってもらいましたが、一度読んでもらえますか。

事務局	(答申案の朗読)
会長 会長	この答申案について意見があればお願いします。 なければ、この内容で答申させていただきますがいかがでしょうか。
委員	(異議なし)
会長	ありがとうございます。それではこの内容で答申することとします。
	(市長入室) (会長が答申書を朗読し市長に渡す)
市長	委員の皆さんには大変お忙しい中、特別職の給料月額等についてご審議いただき、本当にありがとうございました。答申書の内容を確認し、12月議会に条例改正案を提出する準備をしていきたいと考えています。 今後とも、皆様方には愛西市の市政運営に関しましてご理解、ご協力をいただきますようお願いを申し上げて簡単ではございますがお礼の挨拶に代えさせていただきます。
	(市長退室)
会長	9月12日に諮問を受け、3回にわたり慎重審議を重ね、市長に答申を渡すことができました。皆さんから忌憚のない意見をいただけたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。
会長 事務局	(3) その他 事務局の方で何かありましたらお願いします。 ① 答申の内容を新聞社に情報提供します。 ② 議事録の確認について、後日確認をお願いします。 ③ 報酬の振込については、11月中に予定しています。
会長	4 閉会 これにて愛西市特別職報酬等審議会を閉会とします。 ありがとうございました。